

《野田市郷土博物館で企画展》

「見て、見て、ハッケン！ 野田の歴史」展を開催

～考古資料・鈴木貫太郎資料・新収蔵資料を展示～

郷土博物館では、6月11日（土）から、企画展「見て、見て、ハッケン！野田の歴史～考古資料・鈴木貫太郎資料・新収蔵資料から～」を開催している。展示室に小学生を対象とした「土器片をスケッチしてみよう」体験コーナーを設けるほか、鈴木貫太郎資料の展示解説や、「90年前のレコードをきいてみよう♪」と題したイベントを開催する。また、関連事業として小学生を対象にした「古代のアクセサリー・勾玉をつくろう！」、「土器の模様で自分だけのしおりをつくろう！」を開催する。会期は9月19日（月祝）まで。入館無料、関連事業は参加費100円。

考古資料コーナーでは、野田市域を中心に出土した旧石器時代～古墳時代までの石器や土器といった遺物など約100点を紹介している。特に、遺物の形状や模様を写し取る「実測」作業について取り上げ、小学生を対象とした体験コーナー「土器片をスケッチしてみよう」を設けている（参加者にプレゼントあり）。土器片のスケッチをとおして資料をじっくり見てみることを体験してもらいたい。

鈴木貫太郎資料コーナーでは、貫太郎翁とタカ夫人の肖像画、貫太郎翁が将官時代に用いていた儀礼長剣や、タカ夫人が儀礼の際に用いていた檜扇などの品々8点のほか、鈴木貫太郎記念館設立に関わる資料や写真9点を紹介している。また、8月11日（木祝）の午前・午後に、野田市教育委員会生涯学習課学芸員による展示解説（事前申込不要）を開催する。記念館設立の会議が行われた市民会館菊の間もあわせて案内を行うのでぜひご参加いただきたい。

新収蔵資料コーナーでは、関宿地区で使われた農具や、レコードなど市民からご寄贈いただいた資料などを紹介している。7月17日（日）には展示資料を用い、「90年前のレコードをきいてみよう♪」（定員15名・事前申込・先着順）と題し浪花節などの昭和初期のレコードを鑑賞するイベントを開く。

このほか、小学生を対象に、7月28日（木）、30日（土）に「古代のアクセサリー・勾玉をつくろう！」（各回10名・抽選）を、8月6日（土）、20日（土）に「土器の模様で自分だけのしおりをつくろう！」（各回10名・抽選）を開催する。

問合せ＝野田市郷土博物館・直通 04-7124-6851

野 田 市